

Nagoya Noh Theater  
March 2017

平成29年

3月4日(土)

14:00開演 (13:30開場)

◆13:45～開演前ショート解説があります◆

前売券発売12月27日(火)

ご来場の方に抽選で  
素敵なプレゼント!

本公演にご来場の方の中から  
抽選で10名様に能楽グッズを  
プレゼントします。

※ご入場の際にお配りするパンフ  
レットに応募券(ご応募の締切は  
休憩終了まで)が入っております  
のでご確認ください。



撮影: 杉浦賢次

## 能・狂言が描く“愛と恋”

能<高砂>の翁と姫は、寄り添って生える松のような「相生の夫婦」なのだと言う。諸白髪まで睦まじく添う姿は理想の夫婦像とされる。片や、狂言<内沙汰>の夫婦は口下手の夫としっかり者の妻という現実的な取り合わせ。こちらの夫婦は思わぬことから雲行きがあやしくなる。他人同士が連れ添う「夫婦」とは一。その答えは百人百様だろう。

能

「高砂」(宝生流)  
たかさご  
作物出

シテ 衣斐 正宜

狂言

「内沙汰」(和泉流)  
うちざた

シテ 佐藤 友彦

# 名古屋能楽堂 三月定例公演



◇開演前ショート解説(午後四時十五分から午後五時) 『高砂』について 衣斐 愛

狂言 内沙汰(和泉流)

シテ 男 佐藤 友彦
アド 妻 鹿島 俊裕
後見 今枝 郁雄

能 高砂作物出(宝生流)

前シテ 尉 衣斐 正宜
後シテ 住吉明神 内藤 飛能
ツレ 姥 高安 勝久
ワキ 神主友成 橋本 幸
ワキツレ 従者 相元 正樹
アイ 当浦の者 井上松次郎

笛 大野 誠
小鼓 後藤嘉津幸
大鼓 河村眞之介
太鼓 加藤 洋輝
後見 玉井 博祐
衣斐 愛
石森 智幸 佐藤 耕司
竹内 孝成 亀井 保雄
平田 正文 高橋 亘
金森 隆晋 亀井 雄二

(午後四時十五分頃終了予定) 『イヤホンガイド』

日本語/三苦佳子
(愛知産業大学短期大学非常勤講師)
英語/南谷みどり(名古屋能楽堂イヤホンガイド)
都合により出演者等が変更となる場合がございます。

◇狂言解説「内沙汰」(うちざた)

伊勢講の成就に伴い、伊勢参拜に夫婦連れで出掛けると妻に告げた右近(おこ)ですが、妻は講中仲間の左近(ささ)の手前乗り物がなければ嫌だと聞き入れません。そこで右近は牛に乗って行こうと提案し、以前左近の所有する牛が田の作物を荒らした事から、弁償の証にその牛は我が物だと主張して、この事を地頭殿(土地や農民などを管理していた当時の役職)に訴えたいと申し、しかし右近は口下手で気の弱い性格。地頭の前でもしつかりと主張が果たせるよう、妻は自分を地頭に立見立ててまず稽古してみてはと促します。

◇能解説「高砂」(たかさご)

能といえは高砂といわれる代表作。阿蘇の宮の神主、友成(うちとも)が都へ上る途次、播州高砂の浦に立ち寄る。熊手と杉箒を持った尉(前シテ)と姥(ツレ)が高砂の松のもとを清めている。この老夫婦は、尉が津の国住吉の者、姥は高砂の人であった。夫婦は、高砂と住吉の松が目度度、また相生と言われていること、和歌の徳(ひいては文学の力)について説き、そのうち夫婦は、われらは高砂、住吉の相生の松の精であって、住吉へ行って「あれにて待ち申さん」と友成に告げ、舟にうち乗って沖へ出て行く。へ中入(尉は住吉明神の化身とも見られた)友成が住吉に来ると住吉明神(後シテ)が出現し、さわやかにして迫力を持った舞によって御代を祝福する。高砂は世阿弥の作であることが確認されている。小書「作物出」は宝生流の小書であって、通常演出では用いない松の作り物が「高砂の松」として正面先に出され、シテとツレは「落葉衣の袖添えて木陰のちりを搔こうよ」と同吟しながら、落葉を掃き清める個性的な型がここに挿入される。この能は前半は播州高砂がその舞台。ワキ方の「高砂やこの浦舟に...」の道行文によって後半は住吉がその舞台に設定されているので、中入で作り物は正面先からひかれることになる。又、後シテの「西の海、あおきが原の波間より」のあとに立廻りが入って「あらわれ出でし神松の」となる型も小書による演出である。

能が江戸幕府の式楽であったとき「高砂」は特に重要な能として存在した。又現代でも種々な形で祝賀の催しや、結婚式で用いられる。それらの典拠となる「一、二の部分を抽出してみよう。

〔最初の地謡の一節〕四海波静かにて、国も治まる時つ風、枝を鳴らさぬ御代なれや。あひに相生の松こそめでたかりけれ。げにや仰ぎても、事もおろかやかかる代に、住める民とて豊かなる、君の恵みぞ有難き。

〔クセの一節〕高砂の尾上の鐘の音すなり。暁かけて霜は置けども松が枝の葉色は同じ深緑、立ち寄る蔭の朝夕に、かけども落葉の尽きせぬは、真なり松の葉の、散り失せずして、色はなほまさき葛ながき世の喩へなりける常磐木の、中にも名は高砂の末代の例にも相生の松ぞめでたき。

〔ワキの待謡〕高砂や、この浦舟に帆をあげて、月もろともに出汐の、波の淡路の鳥影や、遠く鳴尾の沖過ぎて、はや住の江に着きにけり。〔最後の文〕千秋楽は民を撫で、萬歳楽には命を延ぶ、相生の松風調々の声を楽しむ。

(泉 嘉夫)

三月定例公演事前学習講座

2月18日(土) 14:00~15:30

[受講チケット] 三月定例公演とのセット券500円、一般券1,000円 ほか

◆能「高砂」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。

チケット料金(税込) \*前売券発売日 平成28年12月27日(火)

Table with columns for ticket types (指定, 自由) and prices (前売, 当日).

\*当日券は自由席のみ500円増となります。

\*事業団友の会会員・障がい者手帳をお持ちの方は1割引

(名古屋能楽堂・名古屋市文化振興事業団チケットガイド・事業団施設窓口の前売のみ)

\*上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は、事前に許可を受けた方以外はご遠慮下さい。\*未就学児のご入場はお断りいたします。

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂/TEL.052-231-0088
名古屋市文化振興事業団チケットガイド/TEL.052-249-9387
(平日9:00~17:00/チケット郵送可)
\*名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。

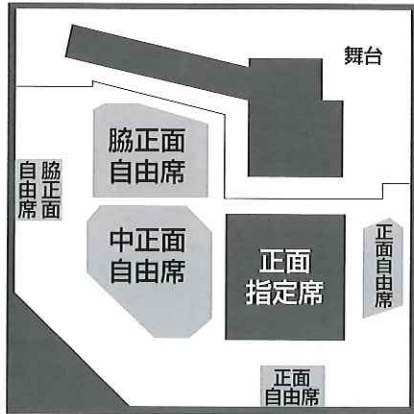
中京テレビ事業/TEL.052-957-3333
栄プレチケ92/TEL.052-953-0777
チケットびあ/TEL.0570-02-9999 (Pコード 455-965)

\*お近くのセブンイレブン、サークルKサンクスでもお買い求めいただけます。

\*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも1割引きます。(名古屋能楽堂取扱いのみ)

To visitors who bring their passports or the likes which prove respective foreign nationalities, advance/day tickets are available at a 10% discount. (at Nagoya Noh Theater only)

●イヤホンガイド 演能の解説が聞ける受信機を無料でお貸しします。(日本語/英語) Noh performance Guide/Rent-free for a wireless headset (Japanese/English)



\*地下鉄・市バス等公共交通機関をご利用ください。
ワクワクドキドキ特典がいっぱい!
「友の会」会員募集中!
公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 TEL.052-249-9385